

# 自己改革工程表の進捗について（令和4年度総括）

## 重点目標

## 成果指標・目標値

### 農業者の所得増大・農業生産の拡大

#### 米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減

対象者：担い手経営体や中核的担い手など 想定 コスト低減効果

令和3年度 実績 6,471 t 30kgあたり122円

#### 令和4年度

目標 実績

6,600 t 6,432 t

#### 農業機械化一貫体系による園芸生産面積の拡大

対象者：中核的担い手や多様な担い手など 想定 売上増加効果

令和3年度 実績 5.76ha(玉ねぎ) 10aあたり販売金額300千円

#### 令和4年度

目標 実績

6.5ha 6.7ha

#### 大型規格農薬の普及拡大によるコスト低減

対象者：必要とする全ての組合員 想定 コスト低減効果

令和3年度 実績 1,878ha 10aあたり100円～500円

#### 令和4年度

目標 実績

2,870ha 2,836ha

### 進捗について

#### 米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減

- ・令和4年度の取組については、米穀フレコン出荷拡大推進実施要領を設定し、担い手経営体へのフレコン導入への意向調査の実施やフレコン装置導入に係る一部助成の周知を行いました。
- ・主食用米等のフレコン取扱い数量は、目標数量6,600 t に対し6,432 t、達成率97.5%となりました。
- ・主食用米の需給調整により飼料用米作付け拡大に取り組んだ結果であり、飼料用米を加えた取扱い数量については、前年9,014 t に対し9,456 t と442 t 増加しコスト低減に繋がりました。

#### 農業機械化一貫体系による園芸生産面積の拡大

- ・担い手経営体を中心に大河原農業改良普及センターと連携して、作付け推進、研修会等を開催し6.7haの作付け面積となりました。
- ・令和5年産にむけて宮城県JAグループサプライチェーン化による大手加工食品会社への販売準備を進めました。

#### 大型規格農薬の普及拡大によるコスト低減

- ・春資材予約申込書へ掲載の水稻農薬大型規格（農家直送超大型4ha規格含む）が通常規格品と比較して大幅なコスト低減が図られる資材であることが認知されてきました。
- ・今年度の実績は目標設定値から99%の前年並みとなりました。

## 重点目標

## 成果指標・目標値

地域の活性化		令和4年度	
農業振興の応援団の拡大		目標	実績
令和3年度 実績	各種イベント参加 延べ 2,055 人	各種イベント参加 延べ 2,100 人	各種イベント参加 延べ 1,860 人
経営基盤の確立・強化		令和4年度	
事業管理費の圧縮に向けた不稼働資産の流動化		目標	実績
令和3年度 実績	売却・賃貸等による土地・建物の流動化 3件	固定資産売却等の公募実施	固定資産売却等の公募実施
		売却または賃貸等による流動化3件以上	売却または賃貸等による流動化9件
対話・意思反映		令和4年度	
項目		目標	実績
正組合員への個別訪問件数(人数)		11,000人	3,887人
准組合員加入時アンケート (回収率)		回収率90%	回収率93.2%
准組合員モニター制度 (意見提出人数)		70人	70人

### 進捗について

#### 農業振興の応援団の拡大

- ・地域活性化委員会によるイベントや、女性大学・親子農業体験等のくらしの活動、女性部・青年部が主体となって行っている子ども達への食農教育活動を通じて、JAの事業を認知・共感して頂くことが出来ました。
- ・今後も「農業振興の応援団」の拡大に繋がる取り組みを実施していきます。

#### 事業管理費の圧縮に向けた不稼働資産の流動化

- ・不稼働資産の流動化に向けては旧丸森地区事業本部ほか5施設の解体工事を行いました。
- ・旧オートパル村田ほか2つの土地について売買を行いました。このことにより施設に関する維持管理費等の圧縮につながりました。

#### 対話・意思反映

- ・正組合員への個別訪問については目標件数11,000人に対して3,887人となりました。
- ・准組合員加入時アンケートについては新規加入組合員220人に対して回収205人となっており、回収率93.2%となりました。
- ・准組合員モニター制度については目標70人に対して実績70人となっており計画通りとなりました。
- ・この他にも農家組合運営協議会や虹色テラスなど組合員が中心となる活動の中で様々なご意見を頂くことができました。以上により、組合員の皆様と対話・意見の集約を行い、意思反映を実践しました。